

今号の内容

- 公団鶴瀬団地の「移り変わり」
- 図録紹介「富士見の修験道-十玉院と般若院-」
- 藍染め入門講座
- 学びの道具
- 冬のイベント情報

公団鶴瀬団地の「移り変わり」

市民学芸員 大山 育子



建替中の鶴瀬団地(手前住宅が建替前、奥建物が建替後)

難波田城資料館常設展示室に、「富士見の都市化の始まりを象徴するできごと」と紹介されている日本住宅公団鶴瀬団地の誕生。昭和32年(1957)鶴瀬第一団地の入居が始まりました。当時団地は庶民の憧れでした。建物は戸建て感覚の庭付き2階建てテラスハウスでした。昭和37年(1962)には鶴瀬第二団地の入居が開始。これが富士見の本格的な都市化の始まりでした。2階建てテラスハウスや4階建て中層フラット住宅、星形住宅などのタイプがありました。

鶴瀬第一団地に長くお住まいの方は、「団地のまわりは畑が多く、雨が降れば道はぬかるみに。長靴で駅まで行き、革靴に履き替えて通勤していた」と話されていました。

鶴瀬第二団地近くの^{せいこう}正興中央通り商店街で長くお店を営んできた御主人は、「昭和の頃は夕方近くになると大勢の買い物客で道がいっぱいになり、歩くのも大変だった」とのこと。この商店街の入り口にはアーチ型の看板が掲げられていましたが、今はそれともなくなり静かな住宅街になっています。

1990年代になると、公団の再開発問題(第一団地の建替)が起きました。住民たちは建替後の家賃が高額になるため住み続けていけるのか、今まで築いてきたコミュニティが壊れることなどに不安を感じ、公団との話し合いは難航しました。NHKが取材に来たこともありました。その頃の団地は誕生当時に植栽された木々が大きく育ち、周囲の地区よりも緑が濃い一角になっていました。

平成8年(1996)、鶴瀬第一団地の建替後の入居が始まりました。テラスハウスは10階建て高層住宅に変わり、名称「アルビス鶴瀬」となりました(県営住宅棟あり)。その後鶴瀬第二団地も建替えられ、名称「コンフォール鶴瀬」となりました(市営住宅を含む)。団地の誕生に伴って開校した鶴瀬西小学校は児童数減少のため上沢小学校と統合され「つるせ台小学校」となり、第二団地建替時、校舎の場所を新たに生まれ変わりました。鶴瀬西小の跡地にはコンフォール鶴瀬の高層住宅が建ち、校庭にあった数本の桜が残されています。

市民学芸員のページ *このページは市民学芸員が原稿を執筆、編集しました。

難波田城 ちょっと拝見 みどころ紹介

図録『富士見の修験道―十玉院と般若院―』

本図録は富士見市指定文化財である「柳下家十玉院文書」、「水宮神社般若院文書」などの資料から富士見市における修験道の展開を紹介しています。今回はその概要を紹介します。

この難波田城公園内には十玉院という修験寺院が存在していました。修験道の大本山は「霞」と呼ばれる支配地域を持ちますが十玉院は入東郡の「霞頭」で市内の万蔵院、西蔵院、般若院等多くの寺院を周辺に従えていました。

そもそも修験道は、奈良時代から平安時代にかけて、自然崇拜を行う神祇信仰と仏教信仰が交わった結果、独自の宗教体として成立したものだといえます。それが江戸時代に入ると、幕府の政策により修験者は人里に定住し、霊的な力で民衆の苦悩や災難の救済を行うようになり、明治初期には神仏分離令が出され、十玉院は廃寺になってしまいました。また十玉院霞下の般若院は神仏分離令の出された後の明治三年(1870)に、水宮を名乗り神官になる形をとり、今日は水宮神社となり存続しています。そのため水宮神社には文書のほか、様々な修験信仰に用いられた道具が残されており、本図録でも紹介されています。

(田中 聡行)



十玉院墓地
(現在も園内竹林内に存置されています)

おもしろ・なつかし体験⑦

藍染め入門講座

このコーナーは、難波田城公園での体験学習やイベントの紹介・報告・参加者の感想などを取り上げます。

難波田城資料館では、公園内にある旧鈴木家表門前の畑で育てたタデアイの葉を使い毎夏「ふるさと体験 藍の生葉染め」を行っていました。今年度は藍の栽培から各種染めの初歩的な内容を学んでいく全6回の講座を開催しています。

講座では生葉染めの他に乾燥葉染め、人工藍を用いた染めなどを学びます。また染め方も、絞り染め、型染め等多岐にわたります。

10月31日の第3回目は、「乾燥葉染め・糸で縫わない絞り染め」でした。参加者は、5人でしたが、楽しく学んでいました。

今回の講座の中心は、藍の乾燥葉を使って染め液を作る作業でした。藍染めで多く使われる、藍の葉を発酵・醸成させて作る染や藍玉が無くてでもできる

染め方で、ご家庭でも楽しめる方法だそうです。

作業場所となった資料館の講座室や給湯室には、藍の香りがほんのりと漂っていました。

私たちも毎年夏に行う古民家宿泊体験の工作でこれまで「絞り染めのハンカチづくり」「型染めのハンカチづくり」をやったことがあります。その時はとっても素敵なオリジナルハンカチができて、参加した子どもたちは大喜びでした。

この入門講座で行われる各種の染めは、そういったイベントで開発した内容を元にしたものとのこと。大人の参加者の皆さんにも喜んでもらえるのではと期待しています。身近に藍染めの楽しさが味わえる体験なので、次の機会にはぜひ参加してみてください。(古澤 立巳)



絞り染め作品と藍の乾燥葉

人の創ったもの★人の使ったもの

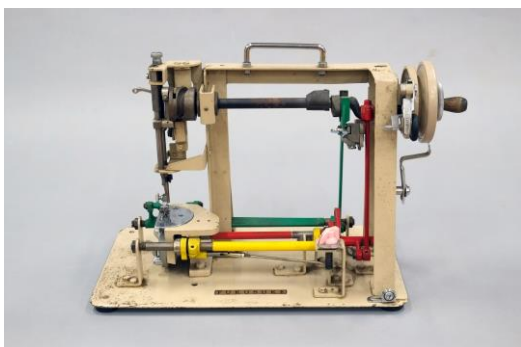
学びの道具

令和3年10月16日(土)～令和4年1月10日(祝)の間、企画展「新収蔵品展～モノが語る学び～」を開催しています。難波田城資料館開館から21年。その間、市民や諸機関からさまざまな資料をいただきました。今回は、ここ8年間でいただいた1万点以上もの資料のなかから、学びに関する資料を紹介しています。

学習用ミシン

このミシンは、富士見台中学校が昭和39年(1964)に購入し、ミシンの機構を学習するために使用したものです。

普通のミシンと違い、ハンドルがついています。普通のミシンの動力は、足踏み式か電力によるものですが、このミシンは動力を手回しのハンドルとしており、実用には向きません。また、ミシン胴体にカバーがなく、内部の機構が見えるようになっていることから、より学習向きに作られたミシンといえます。



学習用ミシン

猿形埴輪の模型

この模型は南畑小学校で昭和48年(1973)に購入されたものです。

模型の元である埴輪は、^{はにわ}茨城県行方市の^{なめかた}大日塚古墳で^{だいにちづか}出土したものです。この古墳は6世紀後半ころ造られたと考えられ、埴輪もその頃のもので。埴輪は両手と下半身が表現されていませんが、猿の特徴をよくとらえています。猿の形をした埴輪は他に例をみないものであり、極めて貴重な資料です。

この模型のような教具は、教科書の文字や写真から得る理解を、より具体化・直感化し、学習を効果的にするために使用されました。教科書だけではわからない、立体構造などを学ぶことができます。

このコーナーでは、当館所蔵の資料や富士見市ゆかりの資料を紹介します。今ではあまり使われなくなったものからわたしたちの身近な歴史をひもといてみたいと思います。



猿形埴輪模型

教科書コレクション

市内の家に代々伝えられてきた教科書です。近年の調査で約400冊の教科書が発見されました。年や点数にばらつきがありますが、天明9年(1789)～昭和34年(1959)のものが残されています。この教科書類は購入して集めたものではなく、実際に一族の方が使用したものを保存してきました。

この資料から、どのようなことに関心を持ち、学んできたのか、また、当時の時代背景による教育内容の違いなども知る手がかりとなります。



教科書コレクション

左から、理科(1952年)、歴史(1911年)、商売往来(1816年)

今回の企画展では、これらの資料を実際に展示しています。子供のころの学びを思いだしたり、昔の教育と私たちが受けてきた教育の違いを知ることができます。ぜひご覧ください。

(菅沼 慎太郎)

＊ ＊冬のイベント予定＊ ＊

●春季企画展

「鷹場の村々」

市内の村々は江戸時代には尾張徳川家の藩主が鷹狩りをする鷹場となっていました。当時の資料などから、鷹狩りの様子や村々に課せられた負担などを紹介します。

会期／3月19日(土)～6月12日(日)

会場／特別展示室

●「つきたてのお餅」の販売

ちよっ蔵市で、つきたての餅の販売をします。
とき／12月19日(日) 午前11時～売切れまで
価格／1パック 200円 会場／旧金子家住宅
主催／難波田城公園活用推進協議会

●ふるさと体験「正月飾りづくり」

とき／12月26日(日)

午後1時～3時

会場／旧金子家住宅

対象／市内在住在勤の方

定員／8人(応募多数の場合、初参加の方優先)

参加費／1,100円(材料代)

持ち物／はさみ

指導／きつかわせつお吉川節男氏

申込み／12月1日(水)午前9時から電話で



●正月飾り材料の販売

受付／12月1日(水)～12月16日(木)

午前9時～午後5時に電話で

※12月17日(金)以降のキャンセルはご遠慮ください

引渡し／12月26日(日)午前11時～午後3時

に当資料館で

費用／1組1,000円(橙なし)

●ふるさと体験「古民家で手作り味噌」

手作業の味噌づくりを体験し、自作の味噌(2kg分)を持ち帰ります。

とき／2月26日(土) 午後1時～3時

会場／旧金子家住宅 参加費／1,500円(材料代)

定員／市内在住在勤の方15人

(中学生以上。申込み順・初参加者優先)

持ち物／エプロン、三角巾、容量3ℓ以上の容器

指導／やぎしたはるよし柳下春良氏

※詳細は広報「富士見」2月号をご覧ください。

ちよっ蔵市(難波田城公園活用推進協議会主催)

12月19日(日) つきたてのお餅

1月23日(日) マユ玉だんご

2月 お休み

3月27日(日) 草もち

田舎まんじゅうの販売

毎月第一、第三日曜日に行ないます。

各日ともに10:30～売り切れ次第終了です。

12月～2月の販売日

12月5日・19日、1月16日、2月6日・20日

「昔のおもちゃ」一部利用再開

旧金子家住宅の前に置いてあり、好評を博していた「昔のおもちゃ」。感染症対策をした上で一部おもちゃ(竹馬、だるま落とし、けん玉など)を利用できるようにしました。消毒液も常置してありますので、ご活用の上、楽しんでいただければ幸いです。

年末年始の休館のお知らせ

資料館と古民家は12月29日(水)から1月3日(月)まで休館です。公園は無休で、午前9時から午後5時まで開園しています。

※なお、ここに掲載されたイベント等も含めコロナの感染状況などにより変更となる場合があります。最新の情報は資料館公式サイト(下記URL、QRコードよりアクセス可)をご覧ください。



富士見市立難波田城資料館

Tel. 049-253-4664 Fax. 049-253-4665

〒354-0004 埼玉県富士見市下南畑 568-1

https://www.city.fujimi.saitama.jp/madoguchi_shisetsu/02shisetsu/shiryoukan/nanbatajo/index.html

◆休館日／月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土・日・祝日を除く)、年末年始 開館時間／午前9時～午後5時

◇公園休園日／なし 開園時間／午前9時～午後6時(4月～9月) 午前9時～午後5時(10月～3月)



資料館公式サイト